

赤松良子先生の誕生日お祝いの会
若手メンバーの学びの報告 (その2)
～赤松先生のパイオニア精神に最敬礼～

赤松先生のお誕生日お祝いの会の様子は、万葉 1081 号でお伝え致しました。先生の前で櫻華塾での学びを若手メンバーが発表いたしました、その内容をお伝えいたします。

櫻華塾グローリア部雪 G の瀧川紗智子です。均等法の生みの親でいらっしゃる赤松先生。一冊の会・最高顧問でいらっしゃる私達の大切な赤松先生のお誕生日をこうして一緒にお祝いできることを大変嬉しく思います。本当におめでとうございます。

一冊の会櫻華塾では、以前「均等法をつくる」の 1000 人輪読を達成しました。この輪読は今も続いておりますが、最近では、こちらのよう新聞切り抜き記事も輪読し、共に学んでおります。これは藤澤まり子さん率いるコスモスグループが切り抜きをつくり輪読しております。本日は雪グループの私が代表して少し感想を発表させていただきます。

最初に、私は今のオシャレでスマートな赤松先生しか知らないのですが、この記事によると、自転車を取り回すような「おてんば娘」でいらっしゃった様子が書かれており、びっくりしました。尊敬する赤松先生の少女の頃の様子を知ることが出来る貴重な機会と喜んでおります。

また、「管理職 鋭さよりも包容力」では、管理職になられて徹せられたことが「職員みんなに気持ちよく働いてもらうことだった」とのお話がありました。私達を燦と輝く太陽のように見守ってくださる赤松先生のお優しさを感じつつ、会社で私もガミガミいうのを少し控えないといけないかしら、との反省が頭を過ります。

「審議会当日 辞表の準備」の回では、「均等法をつくる」の本にも書かれておりますが、均等法の審議会当日に墨をすられながら辞表の準備をされていた赤松先生の様子が思い描かれ、どれほどの覚悟と決意を持っておられたのだろうと何回読んでも胸が熱くなります。経済界のお歴々を向こうにまわしてもなお、闘志を燃やして闘いつづけられた赤松先生の強い信念に心が打たれました。私が就職活動をしていた時は、



赤松先生の均等法のおかげで、どんな会社でも実力さえあれば女性が採用されるチャンスがありました。しかしながら、当時の私は不勉強で、それが有り難いことだと思ったこともない罰当たりな人間でした。女性だから大学を出ても就職先がない、というのも正直ピンときませんでした。今思っても恥ずかしく大変反省しております。この櫻華塾で遅ればせながら女性の人権、労働問題を学びました。そして、男女雇用機会均等法を赤松先生が生み出してくださったおかげで、採用から定年まで雇用の全段階で男女差別がカバーされているからこそ、私も同僚も働けていることを実感しております。赤松先生を筆頭に先輩方が必死で闘って、後輩の為にとよい環境を残して下さったことに心より感謝の思いでいっぱいです。

また、均等法の誕生と、国連の女子差別撤廃条約が切っても切れない関係であったことは知識として知ってはいても、時を読み、流れにのって法律をつくるということは私達にとっては想像を越える別世界のような出来事です。でも一冊の会は国連と共にある会です。大槻会長や小山副理事長に教えを請いながら、時に仕事の忙しさに挫けそうになりながら、「尺取り虫」のような少しずつの歩みではありますが、私達も時の流れを読むことを学んでおります。均等法につきましても、有り難いことに生みの親でいらっしゃる赤松先生から直にお話を聞き、生身のこととして肌で感じる事ができます。「チャンスにはチャレンジを」という赤松先生の御言葉に従い、自分が学ぶチャンスをいただいたからには、使命をもって均等法への感謝とクオータ制への理解を広げるチャレンジをして参ります。赤松先生のパイオニア精神に最敬礼いたします。



すくっとお立ちになった赤松先生

以上のように発表させていただき、高木美智代衆議院議員から「クオータ制の実現に向け、邁進して参ります。また、日本は子供を預けて働くことがまだまだ難しい社会です。働く母親のサポート体制についても同時に考えていかななくてはならない問題であると思っています。」とお言葉を頂きました。

表面の写真のように、赤松先生は真剣に私の発表を聞いてくださいました。この経験は私にとって一生の宝です。最後に、きっとお疲れに違いないのにスッとお立ちになって語られる赤松先生を見て、改めて先生のパイオニア精神とバイテリティを感じました。先生が与えて下さった均等なチャンスを活かし、私も頑張って参ります。

文責 グローリア部 瀧川紗智子